

集中豪雨対策部会の設置について

1 現状等

各地で集中豪雨による災害が多発

- ・ 22 年度は奄美大島で 24 時間に 648mm の雨量を記録、河川から溢れ出た水が老人ホームに流れ込み 2 名が死亡
- ・ 21 年度には兵庫県佐用町で 3 日間に 350mm の雨量を記録、14 名が避難途中に用水路に流されて死亡
- ・ 16 年度京都府における台風 23 号による大雨では、宮津市上世屋で 24 時間に 352mm の雨量を記録し、府全体で 15 名が死亡

京都府の取り組み

- ・ 全庁的な集中豪雨対策として関係課長等で構成する専門ワーキングを設置し、昨年から 10 回以上の検討会議を実施
 - 1) 取組内容の情報共有化のため、関連する事業の体系化を実施
 - 2) 学識者からの指導・助言に基づき、集中豪雨対策をハード対策とソフト対策に分割の上、対策を協議

2 部会の設置

< 検討事項 >

総合的な集中豪雨対策のあり方について

- ・ ハード対策として、上流の山林・ため池から下流の河川・下水道の一体的整備
- ・ ソフト対策として、避難体制の確立、要配慮者対策、情報伝達、防災教育等

(案)

	ハード対策委員	ソフト対策委員
学	中川 一 (京大防災研) 部長	林 春男 (京大防災研) 部長
識	戸田 圭一 (京大防災研)	戸田 圭一 (京大防災研)
者	多々納 裕一 (京大防災研)	牧 紀男 (京大防災研)
	川島 茂人 (京大農学部)	
	谷 誠 (京大農学部)	
	黒坂 則子 (同志社大法学部)	
京	事務局：河川課	事務局：危機管理・防災課、砂防課
都	文化環境部、農林水産部、建設交通部、教育庁、	健康福祉部、建設交通部、教育庁、振興局総務
府	森づくり推進室、土地改良事務所、土木事務所	室、保健所、土木事務所

3 スケジュール

【今年度】

重点取組事項の実施

- ・ 雨水貯留施設整備のモデル事業の実施と検証計画策定
- ・ 地域の防災意識調査と分析の上、客観的避難基準の検証と要配慮者情報の共有化推進

【次年度以降】

集中豪雨対策指針の策定

- ・ 雨水貯留施設整備のモデル事業結果報告
- ・ 森林、農地、ため池の保全と河川、下水道施設整備事業の実施
- ・ 避難、情報伝達の実効性確認と防災教育の実施